**第３学年１組　国語科学習指導案**

**１　単元名・教材名**

　　せつめいのくふうについて話し合おう「すがたをかえる大豆」

**２　児童の実態と本教案の意図**

　本学級の児童は、これまでに「言葉で遊ぼう」や「こまを楽しむ」などの説明文の教材の学習をしてきている。これらの学習を通して、はじめ・中・終わりの文章構成や段落ごとの内容を捉えて読むことができるようになってきた。しかし、自ら説明文を書くという活動を行っていないため、説明文の工夫をまとめ、分かりやすい説明文を書くことができるようになる必要がある。

　本教材は、身の回りにあふれている大豆や、その加工品について書かれた説明文である。本文中の加工品の中には、大豆からできていると気付きにくいものもあるため、児童が新しい発見をしながら楽しく読み進めていくことができる内容になっていると考える。

　本単元を指導するにあたって、小学校学習指導要領の第３学年及び第４学年の「C 読むこと」の指導事項「イ　目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」を中心に指導を行っていく。そのために、「分かりやすい説明のしかたについて話し合う」という言語活動を設定する。その言語活動を遂行するために、「すがたをかえる大豆」の学習を通して、はじめ・中・終わりの構成に注意し、それぞれの段落や全体の中で中心となる文や大事な言葉を見付けながら読めるよう指導していく。それは、中心となる文や大事な言葉を見付けることで、説明文の構成をつかむことができ、文章が分かりやすくなるからである。次の単元「食べ物のひみつを教えます」では、「すがたをかえる大豆」で学習した分かりやすい説明文の書き方を生かして、児童が自ら選んだ、紹介したい食べ物の工夫についての説明文を書くことができるようにする。

本時では、「文章のまとめ方や言葉の使い方について考えよう」という学習課題を立て解決を図っていく。導入では、「ひとつだけ仲間はずれの文があるけど、どれかな」ということを問いかけ、まとめの文章１つ１つの意味を考えて、読むことができるようにしていく。そして、気付いたこと、考えたことを理由とともにグループや全体で発表することができるようにしていく。グループ活動を行うことで、自分の考えを全員が言葉にすることができる。このように、説明文の工夫について考え、言語化することで、次時の説明文を書く活動の助けとなると考える。

本教材の指導を通して、中心となる文や言葉、段落の構成に注意し、人に分かりやすく説明しようと意識するようになると考えている。

**３　単元の目標**

（１）文章の内容に関心を持ち、文章構成を理解しながら読もうとしている。

（関心・意欲・態度）

（２）中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。　（読むこと）

（３）文章中の表現や言葉に注意し、辞書を使って調べ、理解することができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

**４　単元の評価規準と学習活動に即した評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ア　国語への  関心・意欲・態度 | エ　読む能力 | オ　言語についての  知識・理解・技能 |
| 単元の評価規準 | ・文章の内容に興味をもち、初め・中・終わりなどの文章構成を理解しながら読もうとしている。 | ・中心になる文や大事な言葉を確かめながら、説明されていることを整理して読んでいる。 | ・文章中の表現や言葉について、使い方を理解している。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①説明文の題材や、題材に関する情報の集め方について考えようとしている。 | ①文章の構成を捉えて読んでいる。  ②「問い」の工夫に注意して文章を読んでいる。  ③具体例を整理してまとめている。  ④具体例の分かりやすい並べ方を捉えている。  ⑤中心となる文や大事な言葉を捉えて読んでいる。  ⑥事実と意見との関係を捉え文章を読んでいる。  ⑦「問い」や具体例の並べ方など、「すがたをかえる大豆」における文章の特徴をつかんでいる。 | ①文章中の表現や言葉について、分からない言葉があれば、辞書を使って調べている。 |

**５　指導と評価の計画**（全７時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 学習課題 | 評価規準・評価方法 |
| １ | ○食べ物クイズを通して、説明文の題材や情報の集め方について考える。 | ○今後の学習の見通し | アの①  ・ノートによる考察 |
| ２ | ○「すがたをかえる大豆」を読んで、段落構成をつかむ。 | ○段落の構成 | エの①　オの①  ・ノートによる考察 |
| ３ | ○はじめの部分で説明されていることを整理し、表現の工夫について考える。 | ○「問い」のとらえ方 | エの②  ・ノートによる考察 |
| ４ | ○中の部分で説明されていることを整理し、書き方の工夫について考える。 | ○具体例の書き方 | エの③  ・ワークシートによる考察 |
| ５ | ○中の具体例の順番の工夫について考える。 | ○工夫した書き方 | エの④　エの⑤  ・ワークシートによる考察 |
|  | ○終わりの部分を読み、文章のまとめ方や言葉の使い方について考える。 | ○まとめの文章の内容  ○まとめを表す言葉の使い方 | エの⑥  ・ワークシートによる考察 |
| ７ | ○全体を振り返り、分かりやすい書き方について考える。 | ○分かりやすい文章の特  　徴 | エの⑦  ・ノートによる考察 |

**６　本時の学習指導**（本時６／７時）

（１）目標

　　○文章のまとめ方の工夫について考えながら読むことができる。

（２）評価規準

|  |
| --- |
| エ　読む能力 |
| ⑥事実と意見との関係を考え、文章を読んでいる。 |

（３）展開（〇は指導上の留意点　------------内は評価を表す）

|  |  |
| --- | --- |
| 前時の学習内容 | 〇中の具体例の順番の工夫 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　本時の学習課題をつかむ。  ２　１学期で学習した、「こまを楽しむ」と、「すがたをかえる大豆」の終わりの段落のまとめ方について比べて、気付いたことを発表する。  ＜出させたい答え＞  ・どちらも「このように」から始まっている。  ・どちらも１文目で中をまとめている。  ・「すがたをかえる大豆」では、最後に感想が書いてある。  ３　気付いたことについてグループで話し合う。  ４　気付いたことについてグループの意見を発表する。  ５　まとめの文について１つ１つの意味を全体で確認する。  ７　本時のまとめを行う。 | ・本時の学習課題  ・ほかの説明文との比較によるまとめを表す言葉の使い方、まとめ方  ・自分の考え、他人の考え、グループの考えの交流の仕方  ・他のグループの考えとその理由の捉え方  ・まとめを表す言葉の使い方  ・本時のまとめ | 〇前時の学習について振り返り、中を終わらせたことを確認することで、本時では終わりの部分を学習することに気付かせる。  文章のまとめ方にはどんなくふうがあるのだろう。  〇１つ１つの文の意味について考えさせることで、終わりの文を３つに分けて考えることができるようにする。  〇言葉の使い方について考えさせることで、まとめを表す言葉を探すことができるようにする。  〇まとめを表す言葉が他の文章ではどのように使われているか確認し、まとめ方の比較をさせることで、自分で書くときにどのように書くとよいか考えることができるようにする。  〇自分の考え、他の人の考えを比較し、グループの考えを作らせることで、みんなの考えをまとめることができるようにする。  〇理由まで考えさせることで、文章に書いてある言葉の使い方について理解することができるようにする。  〇発表させることで、考えを伝わりやすくまとめることができるようにする。  〇児童の発表から出た言葉を用いて確認することで、まとめを表す言葉の使い方について、理解しやすくなるようにする。  エの⑥事実と意見との関係を考え、文章を読んでいる。  （ノートによる考察）  　事実と意見のとの関係について考えて読んでいる姿が見られれば、「おおむね満足できる状態である」と判断することができる。  〇児童の発言を用いて本時の振り返り、まとめを行うことで、考えて授業に取り組むことができるようにする。 | ５’  ５’  １０’  １０’  １０’  ５’ |

**７　備考**　在籍児童数　３５名

**８　板書計画**

